

2011年8月1日

各 位

国立大学法人 静岡大学
アドソル日進株式会社

『小型／低消費電力型相互通信用ルータデバイスの開発』

の製造請負契約締結に関するお知らせ

国立大学法人 静岡大学（以下、静岡大学、所在：静岡県静岡市駿河区大谷、学長：伊東 幸宏）が、2011年5月26日公告の『小型／低消費電力型相互通信用ルータデバイスの開発』一式に関しまして、アドソル日進株式会社（以下、アドソル日進、所在：東京都港区、代表取締役社長：上田 富三）は、2011年6月8日の一般競争入札に参加し、同業務の製造請負契約を締結致しましたので、お知らせします。

開発のルータデバイスは、文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム（グローバル型）※₁の「浜松・東三河地域オプトロニクスクラスター」※₂における「自律分散協調ユビキタスセンサネットワーク（静岡大学情報学部：峰野准教授）」の研究開発によるものです。

記

1. 研究目的

自律分散協調ユビキタスセンサネットワークは、技術革新の急速な変化に追従可能で、サービス向上やシステムの変更に柔軟に対応する為の自律的に動作するネットワークの実現を目指しています。

自律分散協調ユビキタスセンサネットワークによって構築されたシステムは、様々な機器やセンサ、ユーザ等から得られる情報を利用してマイニング（クラスタリング、分類）を行い、次に発生しうる状況を推測したサービス提供やソフトウェア動作変更を実現します。

2. 開発の背景と計画の概要

静岡大学がこれまで研究開発及び利用してきたルータデバイスは、複数のマイコンボードの組合せで実現しており、筐体が大きくなり設置場所が制限される、複数のマイコンボードを使用する為、製造コストが高くなり量産が困難、複数のACアダプタが必要となりタップの口を複数占有してしまうだけでなく、PLC通信における新たなノイズ源になる、といった課題がありました。

これらの課題を解決する為、ネットワークインフラの整備されていない建造物でも容易にセンシングデータ収集や住環境制御を実現できる技術に関し、アドソル日進と共同で、電灯線を利用するPLC（Power Line Communicatoin）と省電力無線通信IEEE802.15.4を相互補完的に併用した相互補完ネットワークを構築できる小型／低消費電力型相互通信用ルータデバイスを開発します。

尚、詳細に関しましては別紙を参照ください。

3. 今後の予定

静岡大学では、センサネットワークシステム、自律分散協調制御、マイニングシステム、センサア

アプリケーション等を研究開発し、それらが動作する自律分散協調ユビキタスセンサネットワークのプラットフォームを開発します。

本プラットフォームを用いることで変革の激しい情報通信技術の更新可能なライフタイムの長いシステムを構築することが可能となり、地域産業と連携した新たなサービス創出を目指します。

アドソル日進では、これまで培ってきたPLC電力線通信技術とZigBee無線通信技術を、ハイブリッドな形での融合を設計・開発により実現させ、ソリューションとしての機能のブラッシュアップを図ります。

又、静岡大学との製造請負契約による開発を通じて、技術共有は勿論の事、同大学の優秀な人材との繋がりを深めて参りたいと考えます。

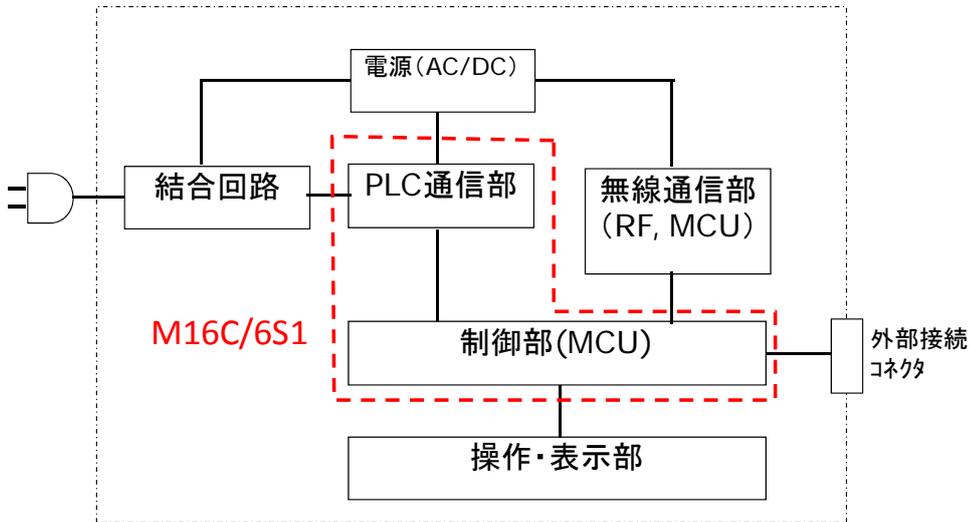
4. その他

※1. 文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム（グローバル型）は、産学官連携による新技術の創出や実用化に繋がる研究開発までの一体的な推進、国内外の他地域との連携によるクラスターの広域化など幅広い活動を戦略的に展開することにより、世界中からヒト・モノ・カネを惹きつけ、世界を相手に勝負できる世界レベルのクラスターを形成することを目的とします。

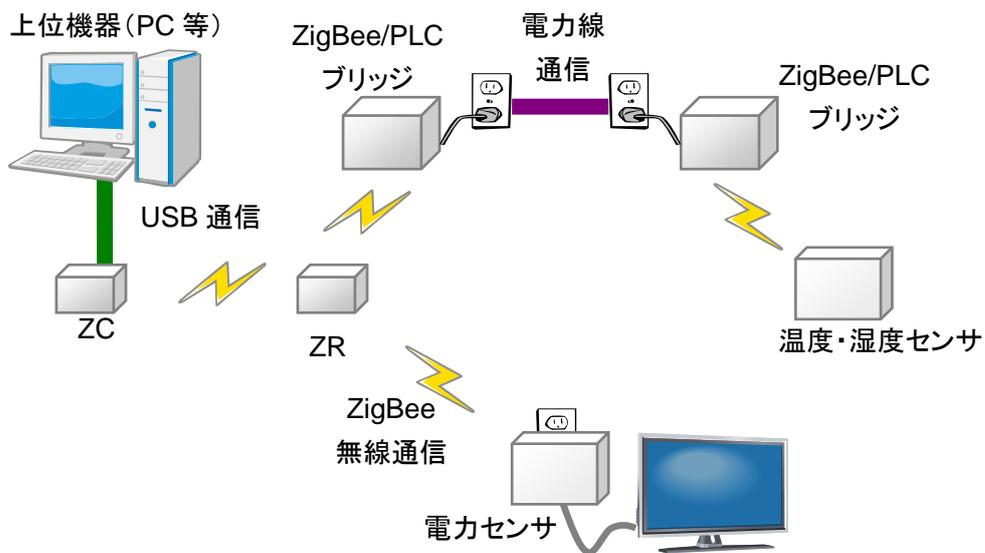
※2. 浜松オプトロニクスクラスターは、オプトロニクス技術の高度化による安全・安心・快適で、持続可能なイノベーション社会の構築を目指しています。

以 上

・開発品のブロック図（概略）



・適用システム概要（例）



(ZC: ZigBee Coordinator ZR: ZigBee Router)